

都道府県バレーボール協会
専務理事・理事長 殿
競技委員長 殿
全国連盟 理事長・代表者 殿

公益財団法人日本バレーボール協会
国内事業本部 本部長 村上 成司
国内競技委員会 委員長 山野上 聖一

平成29年度全日本9人制バレーボール総合男子・女子選手権大会
シードチーム数の変更について（通知）

盛夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、国内事業における諸活動および各種大会運営にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国内競技委員会では、来年度（H30）からの9人制総合選手権の男女同時開催によるリニューアルの実施と9人制バレーボールの更なる発展に向けて検討を進めて参りました。

検討の結果、今年度の9人制総合選手権大会より、シードチーム数を現行の4チームから8チームとすることを決定いたしましたので、関係の皆様にお知らせいたします。

つきましては、大会運用等は下記の取り扱いとなりますので、大変恐縮に存じますが各都道府県予選会への出場チーム並びに大会関係の皆様への周知につきまして、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、今年度は女子大会の開催が例年より約1か月早い時期での開催となり、予選会の開催も時期が早くなっていることと存じますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

◇平成29年度大会のシードチーム数の変更について

「シードチーム数を従来の4チームから8チームとする。それに伴い、対象大会におけるシードポイントも下記の通りに変更する。」（対象大会は従来と同じ）

・前年度総合選手権	優勝：10点	準優勝：8点	第3位：6点	第5位：4点
・当年度実業団選手権	優勝：7点	準優勝：5点	第3位：3点	第5位：1点
・当年度クラブ選手権	優勝：7点	準優勝：5点	第3位：3点	第5位：1点

【大会での運用】

- ① シード8チームは、従来通り予選グループ戦から出場する。
- ② 決勝トーナメントの位置は、シード順に従い、予め決められたシード位置に入れる。
- ③ シードチームがグループ戦において1敗をしてシード権を失い空位が生じた場合、シード順位を順次繰り上げるものとする。（次年度以降の取り扱いについては、引き続き検討）

【変更理由】

- ① シードチーム数を増やすことにより、実力が接近したチーム同士の対戦を回避するため。
- ② 平成30年度からの男女同時開催（推薦チーム・シードチームの見直しを検討中）を含むリニューアルを見据えたため。

なお、推薦チーム数、出場チーム数等の取り扱いについては従来通りであり、前年通りとする。

■推薦チーム数：3チーム ■出場チーム数：男子56チーム、女子52チーム

***②：平成30年度から男女同時に大阪府で開催することが国内事業本部で決定されました。**

大会の更なるグレードアップに向けて、推薦出場、シードチーム数増加等の検討を進めています。

以上